

# 2020（令和2）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会  
なごみの里

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するためお互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）基本方針

#### ① 生産活動の充実と地域との連携をしていく

- ・地域のイベントは中止が多かった、市内の公民館や個人店への販売をとおして交流できた。福祉センター内の販売など新規に納入先もふえた。
- ・施設周辺の回収・市内公園清掃において地域に貢献できた。

#### ② 心身の健康を保持する

- ・PTのアドバイスによる運動や、個々の状態にあった支援、さまざまな検診により健康が維持された。又、健診結果を通院に結びつける事ができている。

#### ③ APDL（応用的生活技術）の向上を習得する

- ・個別支援計画のも応用し、個々に応じた課題やニーズに応じた支援ができた

#### ④ 利用者の主体性を培う

- ・日課の作業や行事の場や自治会において、利用者の意見・ニーズを聞き取り話し合っって対応した。

#### ⑤ 利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼性を深める。

- ・保護者会は感染症予防の為、中止せざるを得ない月もあり、保護者参加の行事も中止となった。個別の面談・電話で担当職員が対応し積極的と連絡を取り合った。

### （3）中期目標

なごみの里の特徴として、自主生産作業の充実を図り、販路拡大を目指して工賃向上につなげていく。また、販売先を通して地域の福祉活動や行事に関わり、利用者・職員が地域とのつながりの中で活動できるようにする。

## 2. 施設概要

- （1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- （2）利用定員 40名（令和2年度利用者数41名）
- （3）開所年月 平成21年4月

(4) 施設規模 敷地面積 433.24㎡ 延床面積 494.9㎡  
 建物構造 鉄骨造二階建て 賃貸区分 民間より賃貸

### 3. 職員構成

#### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名(兼務)
支援員 (常勤職員)	5名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	8名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
運転手(非常勤職員)	0名
合 計	15名

#### (2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士	0名
合 計	2名

### 4. 利用者状況

#### (1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	15名	13名	2名	41名
身障手帳	2名	0名	0名	0名	0名	2名
精神保健手帳	0名	1名	0名	0名	0名	1名

※身障手帳、精神保健手帳と重複

#### (2) 年齢構成 (平均年齢41.7歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合 計
男	1名	3名	3名	10名	2名	2名	21名
女	0名	6名	5名	3名	4名	2名	20名
合計	1名	9名	8名	13名	6名	4名	41名

最低年齢 男…19歳 女…21歳 最高年齢 男…73歳 女…75歳

平均年齢 男…42.1歳 女…41.2歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	中野区	東久留米市	合計
36名	1名	1名	1名	1名	1名	41名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	2名	5名	4名	2名	0名	28名	41名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	3
月末数	42	42	42	43	43	43	43	43	42	42	43	41	509
延べ日数	880	920	880	920	880	880	920	880	920	920	800	920	10,720
延べ人数	754	808	802	820	762	797	831	781	795	800	746	868	9,564
出勤率(定員)	81.6	83.6	86.8	82.9	80.5	84.2	84.0	82.6	82.3	82.8	86.7	92.0	84.2
出勤率(現員)	85.6	87.8	91.1	89.1	86.8	90.5	90.3	88.7	86.4	86.9	93.2	94.3	89.2

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～8:50	出勤・朝礼
8:50～11:45	作業・休憩
11:45～12:45	昼食・昼休み
12:45～15:15	作業・ラジオ体操(休憩)
15:15～15:30	清掃
15:30～16:00	終礼(グループ毎) 帰宅

(2) 土曜日

時間	内容
8:30～8:50	出勤・朝礼
8:50～11:10	作業
11:10～12:00	昼食・終礼・帰宅・送迎

6. 重点目標

(1) 生産活動の充実と地域との連携

- ①自主生産品の各種チップスの生産の効率化と出店場所・販路を拡大し作業の主力の一環として、地元以外の地域(市外イベント)も視野に入れて開拓していく。
  - ・緑の祭典、清瀬秋まつり、福祉園祭り、恩多バザー、白十字バザー、産業祭、福祉のつどいは中止。マルシェ久米川は3回参加、地域や関係機関の注文販売で連携ができた。
- ②施設が主体となって催事を企画し、地域のサークル団体の参加協力を促し、より地域に根差した施設を目指していく。
  - ・防災炊き出し訓は新型肺炎感染拡大に伴い事業所のみで実施、夏祭り、施設体験交流会は中止になった。

③地域の自治会や懇談会に参加し、地域・施設へのニーズを把握し連携を図る。

・恩多町地域懇談会、恩多町福祉協力委員定例会などコロナで開催できなかった。

地域の自治会からの仕事依頼など直接施設と関わる事ができた。

④週2～3日、就労している利用者が継続して社会参加できるようにアフターフォローをしていく。工賃以外の収入確保をめざしていく。

・就労定着の為、就労先の訪問、契約更新手続きのフォロー、就労先と家族と連絡・連携、新たに就労先を増やし給料増につなげるなど支援した。

## (2) 健康・衛生

①理学療法士による個々の運動プログラムをエアロバイク等の健康機器を利用し、肥満やケガの予防・機能維持ができるようにする。また、ダンス講師によるリズム体操を定期的(10回/年)に実施、楽しみながら体を動かし運動への動機づけとしていく。

・PT 7/8 8/1 9/12 10/15・11/14 12/15 1/30 2/20 3/10

・ダンス 10/23・11/13 12/14 1/8 ※コロナ禍で実施回数を調整

②衛生管理の充実を図り、施設の空調機器など定期的に業者による清掃を実施。

・施設床面・窓ガラス、各室空調清掃実施 2/6 害虫駆除作業 4/13, 10/12

③一般健診の他、歯科健診・口腔ケア(歯磨き指導)・婦人科・耳鼻科・眼科検診を実施し、健康状態を把握し家庭や医療機関と連携しながらアフターフォローしていく。

歯科衛生士による歯磨き指導を実施し、口唇体操などアドバイスを基に個別対応し、保護者会を通して保護者にも口腔衛生の重要性の理解を深める。

・各検診において通院同行を行いアフターフォローができた。

・健康診断(なごみの里B型事業所にてあきつの園と合同実施)白十字病院健診車 9/29

・婦人科検診(乳がん検診・白十字病院) 6/18, 23, 25

・眼科検診(浅沼眼科医院)/~/ (耳鼻科と隔年検診) 6/15~26

・歯科検診…なごみの里にて(折笠歯科医院) 2/25 口腔ケア今年度は中止

・インフルエンザ予防接種(白十字病院から出向) 11/9

・体重測定…月1回初日に測定し、年間の体重のデータをまとめ、各家庭に配布し、健康維持の意識づけになった。

## (3) 応用的生活技術向上のための支援の充実

①グループ外出・クラブ活動・宿泊旅行など各種行事の中で交通機関の利用、身だしなみ(身支度)、買い物、洗濯、清掃など地域(自立)生活に必要なスキルを獲得していけるように支援する。

・グループ外出・クラブ活動・個別支援計画をとおして、個々のニーズに基づいた細やかな支援ができた。

②必要な支援していく為に各関係機関・施設との関係づくりをすすめていく。

・各相談支援機関、社協など多方面と連携し、新規利用者の獲得につなげる事ができた。

## (4) 作業

①自主生産品の生産効率化と販路の工夫を図り、施設の特徴を生かした作業として定着していく。

・出店予定のイベントの中止が多かった。地域の店舗や注文による販売が中心となった。

②回収・清掃作業を通して地域との連携を深めていく。

・回収・清掃を通して、地域と連携している。

③作業種目

	作業種	作業内容	受注・納入先	稼働日	参加	2年度収入	1年度収入
外 作 業	回収	古紙回収	地域各所、都営団地他	週2～4回	2名	1,820,357	2,098,391
	公園 清掃	中央公園・浅間山公園	西武・武蔵野パートナーズ	月6回	7名	1,074,800	1,144,600
	水やり	花の水やり、草取り	白十字ホーム	随時	3名	198,548	206,784
室 内 作 業	受注 作業	新光	(株)新光	随時	全員	275,665	250,628
		ショッピングバッグ製作	(有)鈴木紙工	随時	全員	211,213	766,366
		箱組み立て	(有)小沢加工所	随時	全員	975,984	561,119
		シール貼り付け、袋詰め	(株)ウチノ板金・文化村自治会・その他	随時	5名	73,029	22,358
		ケーキの箱筋つけ、封入	平成の里	随時	全員	504,981	
		段ボール組み立て	(株)カマタ	随時	全員	266,290	12,320
		、タイトニック	ティカトウ	随時	全員	366,412	
	自主 製品	ごませんべい ソースせんべい	市役所・富士見公民館 みどりの森ミニバザー、 清瀬特支学校、各イベント	週2～3回	8名	719,880	1,253,800
				合計		6,487,159	6,316,366

工賃支払実績

(単位：円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	270,010	6,923	14,626	2,690	32,826
5月	220,060	5,643	13,250	1,630	30,800
6月	210,040	5,677	13,786	1,780	34,650
賞与	153,000	3,825	7,000	2,000	
7月	250,030	6,411	12,460	1,870	34,650
8月	360,020	9,001	18,650	2,490	32,624
9月	280,000	7,000	15,260	2,030	34,650
10月	300,010	7,317	15,680	1,110	32,826
11月	350,000	8,537	18,500	1,810	28,774
12月	350,020	8,140	18,650	1,140	25,530
賞与	299,000	7,293	20,000	3,000	
1月	500,070	12,502	26,930	2,460	33,634
2月	500,000	12,195	29,675	1,410	35,458
3月	520,000	13,000	27,540	2,760	35,458
賞与	293,000	7,325	15,000	5,000	
合計	4,855,260	120,789	267,007	33,180	391,880
平均	404,605	10,065	22,250	2,765	32,656

※ パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

(5) 給食

①利用者の健康に配慮した食事提供など、給食会議を通して検討していく。

・月に1回の給食会議にて毎月の食事（メニュー内容）について検討し日本の地域料理を

取り入れて、食に対する関心を深める事ができた。

②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出などを工夫し、地域や保護者と共に楽しめる食事の場を提供する。

・コロナ禍で地域や保護者参加は中止となったが、季節ごとの行事（夏祭り・クリスマス会など）に合わせたメニューを取り入れて食堂の装飾や演出も工夫をして楽しめた。

③選択メニュー（週2回）や食堂の環境など利用者の意見を取り入れながら、よりよく食事が楽しめるように工夫する。

・感染予防対策により、食事時間は交代制、黙食・一方向での食事体制に変更している。

④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	679Kcal	24.4g	96.2g	19.6g	97mg	0.36mg	0.32mg	30mg
実績	671.9Kcal	24.5g	96.3g	19.1g	102.8mg	0.36mg	0.30mg	34mg

#### （6）自治会活動

①行事やクラブ活動を中心に、利用者に関わる日課中の事柄に対し積極的に意見や希望を伝えられる場を提供する。（月1回定期開催他、必要に応じて開催する）

・感染症対策に関する情報を自治会の場で提供していく事が多かった。その中で利用者が意見や希望を伝えやすくできるよう支援した。

②自治会の場において、プロジェクターを利用し、利用者に必要な情報をわかりやすく伝えていく。

・感染予防で密をさける為、小グループでタブレット使用に変更した。

#### （7）行事

##### ①クラブ活動

・お風呂&カフェ・カラオケ・ボウリングは感染拡大の影響で中止

クラブ毎に余暇活動を実施 ぶどう狩り 9/15, 17, 18 いも掘り 10/20, 23, 28

#### 年間行事

	内容	場所	目的	人数
4/3	お花見ウォーキング	全生園内	新入所者・保護者との交流、体力増進	45名
8/22	夏祭り（地域祭り）	なごみの里	感染対策を守り職員、利用者のみで実施	50名
8/7, 28	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動学ぶ	52名
9/15~17	ぶどう狩り	農園	クラブ活動の代替えの余暇活動	40名
9/16	恩多町地域運動会	野火止小学校	中止	
9/28	清瀬特支秋祭り	清瀬特支校庭	中止	
10/2, 16	グループ外出	青梅周辺	感染対策を守りグループでバス旅行を楽しむ	40名
11/3	運動会（保護者参加行事）	八坂小学校	中止	
12/21	クリスマス会（保護者参加）	なごみの里	年間活動報告、保護者・利用者・職員の交流	65名
1/29	成人を祝う会	なごみの里	利用者の成、就労など節目を祝う。	35名
3/2	出張イチゴ狩り	なごみの里	感染対策を守りイチゴ狩りを楽しむ	40名
3/24	炊き出し訓練	なごみの里	感染対策を守り職員、利用者のみで実施	50名

## 7. 防災訓練

### (1) 防災

- ①地域における災害時の拠り所として、防災用具・非常食・飲料水の備蓄をしておく。
  - ・防災訓練をとおり、必要な災害用品や備蓄食糧を確認し補充した。
- ②防災計画に基づき月1回防災訓練・年1回自衛消防訓練効果確認・防災館体験炊き出し訓練（地域・保護者参加）の実施
  - ・月1回地震・火災訓練・一時避難場所確認防災館 7/1・31 8/7.28 炊き出し訓練 3/24

### (2) 事故防止

- ①事故に対する意識を高めるために、警察署（交通安全課）と連携し安全教室などを実施する。
  - ・朝礼・終礼時に自転車や歩行に関する注意を促した。
- ②安全運転管理者を中心に車両の不良・消耗等の確認をチェックシートに記入、事故防止に努める。
  - ・チェックシート・確認により、定期的にメンテナンスした。
- ③各送迎コースの道路状況や運転者の健康状態に留意し、事故防止に努める。
  - ・送迎担当職員で情報交換（コース変更も含め）を行った。回収・送迎時にリスクのある場所の周知を迅速に行った。

## 8. 施設外の方との関係

- ①自主生産品販売の販路拡大を中心に作業を通して広域地域（市外も含めた）との連携を模索していく。
  - ・地域のイベントがほとんど中止の中、福祉センターなど新規に出店できた。
- ②地域懇談会や地域団体活動に参加し、福祉施設についての相互理解を深める。
  - ・会議等には参加できなかったが、自治会から仕事依頼を受けるなど交流できた。
- ③施設の開放行事に地域参加促し、施設見学訪問を積極的に働きかけていく。
  - ・開放行事の地域参加はなかったが、清瀬特別支援学校からの体験学習の受け入れを実施できた。
  - 10/22 職場見学（清瀬特支・先生、生徒） 10/27 オープンセクション（清瀬保護者）

## 9. 実習生の受け入れ

- ①地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。
  - ・清瀬特別支援学校より3名（3年生1名 2年生2名 1年生0名）
- ②大学などの実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。
  - ・介護体験学生 16名×5日

## 10. 父母会、親の会との連携

### (1) 父母会

- ①保護者の施設に対する理解・協力を頂けるよう、年10回の保護者会を開催する。
  - ・保護者会を年7回（火曜・金曜隔月）実施。感染拡大の影響で中止した月あり。

- ②毎月の予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。
  - ・季節のイベントなどはカラー印刷・利用者コメントなども充実させ実施。
- ③保護者参加の行事や作業などを通じて、相互理解を深め家庭との情報共有に努める。
  - ・コロナ禍で施設行事の保護者参加は実施できなかった。個別の面談を通じて情報共有や相互理解に努めた。

(2) 親の会

- ①共催行事を通して、協力していく。
  - ・運動会・成人を祝う会は中止

1 1. 職員研修

- ①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識（虐待防止・権利擁護など）を広め、職員の質の向上を図る。（社教他関係機関、民間企業主催の研修会等）
  - ・研修の延期や中止が多かったが、社協他関係機関、民間企業主催のリモートによる研修会に多少参加できた。
- ②研修部会などを活かした取り組みを行う。
  - ・年2回研修部会による研修 10/1

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
職員のメンタルヘルスとストレスマネジメント	10月1日	山鳩会研修部会	なごみの里2階食堂	職員全員
就労パスポート (支援機関向け)	11月20日	ハローワーク立川	立川地方合同庁舎	江川美樹
食品衛生管理 研修会 (HACCP)	11月27日	東京都セルプセンター	中野サンプラザ研修室	江川美樹
防火・防災管理講習	12月1・2日	東京消防庁	消防技術試験講習場	松井天平
虐待防止 権利擁護研修会	3月12日	東京都社会福祉協議会	なごみの里2階相談室	齋藤正昭

1 2. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設運営・行事全般
評価会議	2回/年	アセスメントの見直し
給食会議	10回/年	委託業者との検討会議
ケース会議	3～4回/月	利用者個々について
個別支援計画会議	2回/年	各ケースの支援計画について
自主生産品会議	1回/月	自主生産品について

1 3. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- 担当窓口及び第三者委員を設置し、親切丁寧に迅速に対応する。
- ・保護者・利用者とは支援を通して日頃から良好な関係を作っていく、連絡帳を使用し必要な時は面談をして対応した。



(2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

- ・パソコン内のデータ保護、各自のUSBの保管に関して注意し、個人情報の流出のないよう周知徹底した。

(3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修に参加し、意識をもって取り組む。また、担当窓口を設置し丁寧に対応する。

- ・各研修を通し職員全体の意識を高めるよう努めた。また担当窓口を設置し（担当者に限らず）訴えがあった時は丁寧に聞いて迅速に対応した。

(4) 虐待防止

担当者を配置し、虐待行為を未然に防げるように対応する。

- ・権利擁護や虐待防止に関する研修会などに参加し、職員への意識向上に努めた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者	金子 伸一	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者（男性）	松井 天平	同上
担当者（女性）	江川 美樹	同上

虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子	042-395-5700
担当者	齋藤 正昭	同上

14. 人事考課

目標面接	中間面接	9月
	期末面接	3月
振り返りシート		3月